

# 平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

## 1. 学校概要

学校名 香川県立高松桜井高等学校 (※正式名称を記載)  
種 別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫<sup>※注1</sup>  
 中学校  中高一貫<sup>※注2</sup>  高等学校  
 教員養成大学  専修学校、各種学校  
 特別支援学校  
 その他 (例：小中高一貫 )

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒761-8076

香川県高松市多肥上町 1250 番地

E-mail takamatsusakuraiko@pref.kagawa.lg.jp

Website www.kagawa-edu.jp/sakrah02/index.html/

幼児児童生徒数 男子 371名 女子 466名 合計 837名  
幼児・児童・生徒の年齢 15歳～18歳

## 2. 報告期間

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

※報告書提出時点～平成 30 年 3 月末までの活動は、予定 (見込み) として記載ください。

## 3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800 字程度 + 活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

当校は、「国際理解と環境」を活動テーマとして、ESD を主体性を養う機会と捉え、ESD の実践を通して自発的に考え、行動する力の育成を目標とした。具体的には、フェアトレード、節電節水を柱に、①地元のフェアトレードに係わる学習 ②節電節水に係わる活動を行った。

### ① 地元のフェアトレードに係わる活動

生徒会 1 年生がフェアトレードに取り組んでいる地域の団体と交流するために 5 月 21 日 (日) サンポート高松で実施された「フェアトレードまつり in 高松」に参加した。

9 月 10 日 (日) に本校で開催された文化祭では、生徒会展でフェアトレードについて解説した展示と地域のフェアトレードに取り組んでいる団体及びそれらの団体が扱っている商品を紹介し、校内外の人にフェアトレードについて知ってもらうよう努めた。

10 月 26 日 (木) の LHR では国際理解と国際交流の項目に該当するものとして、全クラスでフェアトレードとそれに関わる地域の団体について知り、加えて、班単位で地元香川のフェアトレードを盛り上げるためのラベルを考えることでフェアトレードへの理解を深めた。

## ② 節電節水に係わる活動

一年を通して、節電・節水に取り組んでいる。特に9月から11月には、香川県地球温暖化防止活動推進センター主催の「平成29年度CO<sub>2</sub>CO<sub>2</sub>（コツコツ）削減コンテストin香川」に参加し、電力消費量、水道水使用量を前年の同月より減らすように努めている。

具体的には、毎月、環境委員会を開き、その後電力消費量、水道水使用量を過去2年間の同月のものと比較した棒グラフのプリントを環境委員が各教室に掲示して、節電・節水へ積極的に努めてもらうよう呼びかけている。その活動に対して、香川県地球温暖化防止活動推進センターより「努力賞」を頂き、2月17日（土）表彰された。



## (2) 活動の詳細

### ① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

#### ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input checked="" type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他( )		

#### イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入 )	

#### ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 )	

#### エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

フェアトレードに関する記事(朝日新聞・平成29年1月29日日曜日)  
考えよう! やってみよう! フェアトレード (溪流社)

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

現在のところ、教育課程（指導計画）に明確に位置付けることはしていない。特別活動の一つとして活動している。フェアトレードに関しては、生徒会の生徒は、文化祭での展示の準備を通してフェアトレードへの理解を深め、全生徒は、各クラスでフェアトレードをテーマにLHRを実施することで、フェアトレードに関する基礎的知識を身に付けることができた。また、進んで参加する態度の養うために、生徒自身が主体的に活動する機会をそのLHRの時間内に設けた。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

本校では、生徒会での活動を中心に取り組んでいる。その理由としては、生徒会に所属している生徒は、社会的な事柄に関心が比較的高いため活動への意欲が高いこと、また、生徒会だより等の全校生徒に発信する手段も有していることがあげられる。さらには、上級生から下級生へ、経験、知識が確実に伝わっていく理想的な異学年交流の場でもあるため、継続的な取り組みにも適している。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

評価の方法の一つとして、保護者対象の学校評価アンケートの一項目で本校でのユネスコスクールの活動を認知度をたずねている。5段階評価で回答するのだが、今年度の結果は、1年生が2.0、2年生が2.3、3年生が2.8という値で高いものではなかった。活動に広がりを持たせるためには保護者にも認知してもらう必要がある。今後、確実に情報が伝わる手段を考え、実行していきたい。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

9月10日(日)に本校で開催された文化祭での生徒会主催のフェアトレード展が活動成果の発信内容及びその方法である。この展示により、本校がESDの一つとしてフェアトレードに取り組んでいることが発信できた。一例としてカンボジアへの支援に取り組んでいる地元の団体に関わる人がその展示を見て、感心して下さったということがあった。小さなことだが、これをきっかけに交流を深めていけると感じている。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)  
(200字程度)  
※チェック事項 2-3 に対応

フェアトレードに関して、高松ユネスコにも所属し、フェアトレードに取り組んでいる方と交流している。文化祭ではその方が扱っているコーヒー豆を展示したり、フェアトレードを扱ったLHRでは、助言者として参加して頂いた。

また、節電・節水に関しては、「平成29年度CO<sub>2</sub>CO<sub>2</sub>(コツコツ)削減コンテストin香川」に参加することで、環境問題に取り組む団体とのネットワークは形成されている。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度)  
※チェック事項 2-4 に対応

国内外ユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成はなされていない。フェアトレードに取り組んでいるユネスコスクールで本校と距離的に近い学校としては、岡山県立岡山一宮高等学校があることはユネスコスクールのWebページ等より知っている。本校で活動を進めていき、本校から相手校に伝えるべきものができ、また、活動をより深めていく時期が来たら、本校から交流をお願いしたいと思っている。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）  
※チェック事項 2-5 に対応

現在のところ、特筆すべき内容は見られない。ただ、生徒、教職員ともに文化祭での展示、LHRによって、フェアトレード、地元でフェアトレードに取り組んでいる団体に関する知識、関心が殆どない状態から、フェアトレードに関する基礎的な知識をもつようになってきている。これからはそれらの知識を土台として活動を発展させ、様々な面でポジティブな変化が見られるようにしていきたい。

- (3) 平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

フェアトレードとしては、地元の団体の対象国の現状、活動内容等を交流をしながら詳しく調べ、文化祭等を通して学校内外に発信していく。

節電・節水運動としては、「CO2CO2（コツコツ）削減フェスティバル2018 in かがわ」に参加しながら、広い視野を持つためにパリ協定等、脱炭素化への世界的動きを調べ、文化祭等で紹介していく。

県内の高校の特別活動部の教職員が参加する研究会でESD及びユネスコスクール、本校の活動について発表し、ESD、ユネスコスクールへの認知度を高めることに努める。